

鹿児島玉龍中高一貫教育校での 「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成21年11月24日（火） 15：30～16：45

場所：鹿児島玉龍中高一貫教育校（交龍館安田ホール）

平成22年2月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	中学3年生男子	<p>① 環境未来館が建設されたが、42億円という多額の費用がかかっています。どのような経済効果があり、また、どのように環境問題を解決していくつもりですか。</p>	<p>環境の問題は世界規模での喫緊の課題であると同時に、人類が生存していくため解決しなくてはならない大きな問題です。本市のまちづくりにおいても、環境問題を1つの大きな課題として捉え、まちづくりの指針として取り組んでいます。</p> <p>環境未来館に費用はかかっていますが、環境保全、また環境意識を培う拠点施設になれば投資効果も生まれるのではないかと思います。</p> <p>環境未来館においては、環境意識の向上やリサイクルなどの3Rについての講座も実施していますし、市民団体が独自の活動も行っています。館を造ることが目的ではなく、本市の意欲や意識を示す大きな柱として設置したところです。</p> <p>今、内閣が温室効果ガス25%削減を大きな方針として打ち出し、本市もそれに取り組むため様々な事業をしています。</p> <p>行政だけではなく、市民、事業者がいっしょになって取り組む必要があります。その取り組みの中心になるのが環境未来館だと思っています。ぜひ、環境未来館に行って環境への取組を肌で感じて、また、参加して欲しいと思います。</p>	環境政策課	<p>かごしま環境未来館は、参加・体験型の環境学習とリサイクル活動などの拠点となる施設として平成20年10月10日に開館したところです。</p> <p>環境未来館の経済効果については、環境未来館を多くの方が利用し環境について関心や理解を深めていただくことにより、市民の生活様式や事業者の経済活動に省エネや省資源などを取り入れ、環境に負荷の少ないものに変っていくことにより、表れてくると考えております。</p> <p>環境問題の解決には、行政が率先して取り組むことはもとより、市民や事業者の皆さんが認識を深め、具体的に行動することが必要です。</p> <p>そのため、環境未来館では、市民一人ひとりが環境について関心や理解を深め、日常生活や事業活動において自発的に環境保全活動を実践し、その活動の輪を広げていけるように、市民・事業者・行政が協働して取り組んでまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	高校2年生男子	<p>② 観光について、新幹線が全線開通するが、どのような戦略で観光客を集めるつもりですか。</p> <p>市政ガイドンスビデオでは、歴史の話が出ていましたが、古いものでは集まらないと思います。新しいものが必要ではないですか。</p>	<p>これから新幹線が全線開通すると、大阪から4時間弱で来ることとなります。これまでと同じ態勢では福岡、大阪に吸収されます。これまでとは違った魅力が必要です。</p> <p>しかしながら、やはり他都市より優れているものは、自然、歴史、文化だと思います。その中でも、黒豚、焼酎など食材は隠れた魅力の一つです。また、温泉が多いことも珍しいことです。</p> <p>特に誇りに思うのは、人の温かさ、人間性です。やさしいおもてなしを受けたとの話も聞きます。それも魅力だと思います。</p> <p>新たな施設を造る、新たな事業を行うというより、これまで本市にあったものを掘り起こしていくことが必要だと考えています。</p> <p>観光未来戦略を策定し、足湯、赤水広場の整備なども進めてきましたし、中央駅、市街地、桜島に繋がる回遊性のあるまちづくりも進めていきたいと思えます。23年春には都市緑化フェアという全国規模のイベントもあります。</p> <p>そういった色々な事業を呼び込んで、本市の魅力を知っていただく対策を立てていきたいと思えます。</p>	観光企画課	<p>現在、本市におきましては、平成23年春の九州新幹線の全線開業を見据え、平成17年度に策定した観光未来戦略に基づき、「桜島」溶岩なぎさ公園足湯や歴史ロード“維新ふるさとの道”の整備、“美味のまち鹿児島”魅力づくり事業など、自然や歴史、文化、豊富な食材など、本市の魅力ある観光資源を生かした施策に取り組んでおります。</p> <p>今後も、これらの観光資源を有効的に活用するとともに、福岡市、熊本市と連携した観光客誘致や各種メディアを活用した情報発信等に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	高校1年生男子	③ 鴨池に新しいプールもできるので、鹿児島市を中心としてオリンピックを誘致するのはどうですか。 鹿児島市にはオリンピックを誘致する力はありますか。	<p>オリンピックを開催することは、都市の大きな躍進の原動力になると思います。ただ、オリンピックを誘致するには、都市の整備、財源など問題があります。まずは、日本国内で調整すべきでもあると考えます。</p> <p>九州でオリンピックが開かれるのであれば、本市も会場の1つとして、プールも新しくなるので、水泳競技をして欲しいと要望はできると思いますが、本市で開催するとすると、関門がたくさんあると思います。</p> <p>現在、鹿児島県では国体を誘致する運動をしています。国体を誘致することで、施設整備も進みますし、多くの観光客も呼べます。国体が誘致できればありがたいと思います。</p>	市民スポーツ課	<p>新鴨池公園水泳プールは、平成23年4月の供用開始を目前に国際公認の50m屋内プールと屋外の飛込プールを整備しているところであり、これまで以上に大規模な大会の誘致が可能となることが予想されます。</p> <p>一方、水泳を含め各種競技のあるオリンピックの開催には、財源や施設設備のほか、関係者の理解を得るなど、多くの課題があるものと報じられており、本市への誘致についても、同様の課題があると考えられることから困難と考えております。</p>
4	高校2年生男子	④ 桜島に美術館を造るのはどうか。有名な建築家が設計すれば、世界中から人を集めることができる。	<p>市立美術館がありますし、また県内に公立だけでなく、私立の美術館がいくつかあります。桜島には、桜島の活動を紹介するビジターセンターもあります。歴史などを紹介する黎明館、また、文学なども紹介する近代文学館などもあります。</p> <p>桜島に美術館を造るとなると、今ある美術館などとの連携、関係を考えなくてはなりません。同じ美術館を市内に2、3つ造ることは、費用対効果などの面で難しいと思います。</p> <p>美術館以外に桜島に何かできるか、そういう観点から考えてみたいと思います。市立美術館も造られてかなり年月が経っていますが、充実してきていると思います。</p>	観光企画課	<p>市内には、市立美術館など多くの文化施設があるとともに、桜島においても、噴火の歴史や自然について分かりやすく展示、解説し、様々な情報を紹介している、桜島ビジターセンターがあることから、これらの施設を多くの観光客にご利用いただきたいと考えております。</p> <p>また、平成18年度に策定した桜島観光振興プランに基づき、「桜島」溶岩なぎさ公園足湯の整備や湯之平展望所のリニューアル、赤水展望広場の整備など、桜島への観光客誘致に積極的に取り組んでいるところでございます。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	高校1年生男子	⑤ 地下鉄を利用した観光事業を行って、観光客を短い時間でいろいろな場所にいけるようにすることはできませんか。	<p>大都市には地下鉄が走っています。大都市の場合は、土地の有効活用のため、また、地上では既に交通体系が確立しているので、地下に交通網を整備しているのだと思います。</p> <p>地下に交通網を整備することは大変な費用がかかります。</p> <p>鹿児島の場合は、地下鉄を造るよりも市電が走っています。全国でも市電が走っている街はそれほど多くありません。これまでの車社会では市電はマイナスの交通機関でしたが、環境問題が言われる中で、市電は大きな役割を果たすようになってきています。本市でも大きな魅力の一つになっています。市電を活用したまちづくりを進めていくべきと考えています。</p> <p>また、本市には市営のフェリーもあります。市電とフェリーを活用した公共交通機関が、魅力の一つだとも思います。</p> <p>財政的に大変厳しいことから、地下鉄整備は難しい面があります。鹿児島にはまだ、地上の交通体系を整備できる余地があると思っています。</p>	交通政策課 都市計画課	<p>これからのまちづくりは、人口減少・高齢化の進行、地球環境問題の深刻化、財政制約の高まり等の社会経済情勢の変化を踏まえ、徒歩・自転車や公共交通で日常生活が可能となるよう必要な都市機能が集約された都市構造の構築を目指す必要があります。そのためには交通網の整備は必要不可欠なものでありますが、地下鉄網の整備については、財政的状况からも困難であります。</p> <p>本市では全国でも数少ない市電や市営フェリーなど貴重な資源を有しており、これらを活用することが、これからのまちづくりや観光面においてもプラスになると考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	高校1年生男子	<p>⑥ 皆与志小学校への通学路は、歩道も無く、カーブでは車に衝突しそうで危ない所がいくつもあります。 周辺5町と合併しましたが、皆与志よりも、もっと状況の悪いところあると思います。 政権が変わって地方の整備予算も減っている中で、地方の都市に対する安全対策はどうなるのですか。</p>	<p>地方の都市基盤整備、例えば、道路、農道、河川などの整備は、まだまだ遅れています。それぞれの地域実態を現場検証して、整備を進める必要があります。 政権交代で公共事業の予算を見直していくということが言われておりますが、そういった見直しの中にあっても、地方が遅れていくことを国に要望していかななくてはいけないと思います。 歩道の整備は安心安全のまちづくりをする上での根幹をなす事業だと思えますので、皆さんの声を踏まえて鹿児島市としても対策を講じていきたいと思っています。</p>	安心安全課 道路建設課	<p>郡山に向かう菖蒲谷交差点付近から皆与志小学校付近までの区間について、皆与志小学校スクールゾーン委員会及び地元町内会から、歩道設置等の要望があり、歩道設置を含む道路の線形拡幅改良を行うこととしており、平成21年度は、交差点から約100mの区間の改良を行っております。残りの区間についても土地所有者のご理解とご協力をいただきながら道路の改良に取り組んでいく予定であります。 また、白山山バス停付近の道路の見通しの悪い区間についても、地元町内会から見通しを改善する要望があり、平成21年度に改良工事を行ったところであります。</p>
7	高校1年生女子	<p>⑦ 放置自転車を見て思いました。レンタル自転車をできる場所を設置してもらえるとありがたいのですが、近い場所は、市電とかバスを利用するよりも便利だと思います。 レンタル自転車を設置できませんか。</p>	<p>民間の宿泊施設では、レンタルに取り組んでいるところがあるようです。 レンタル自転車に取り組むためには、車道の整備が必要です。放置自転車が増えてきていますが、放置自転車を再利用する、また環境にやさしい乗り物であるという観点から、レンタルで活用するのか、他の方法を考えて活用するのかは今後取り組むべき大きな問題です。 自転車の利用を進める環境整備も必要ですので、自転車でいろいろな所に行けるまちづくりを進めているところです。 最近、電気自転車も発売されています。市もその自転車に対して補助金を出していますが、すぐに売り切れるので追加で補助をしています。自転車への市民の関心が大きくなっていると思っています。 自転車を活用した事業にも取り組んでいきたいと考えています。</p>	環境政策課 観光企画課 道路管理課	<p>放置自転車については、本市の条例に基づき指導・警告を行った後に撤去を行っていますが、撤去した自転車については、まず、持ち主に引き取ってもらうよう、所有者の調査をした上で6ヶ月間保管を行っています。 保管期間が過ぎても持ち主が引き取りに来なかった自転車について、まだ自転車として使用できるものは、リサイクル自転車フェアを開催し市民の皆さんへお売りしたり、留学生や福祉施設にお譲りするなどの活用を行っています。 レンタル自転車の導入につきましては、鹿児島市の地理的特性や利用者となる市民・観光客等の意見を踏まえた議論が必要です。 また、国、県、警察など関係行政機関との調整や公共交通機関との連携についての検討など様々な角度から導入の可能性について検討する必要があると考えております。 現在、本市におきましては、JR九州や宿泊施設など、民間によるレンタサイクルが運営されており、観光客の方々にも広くご利用いただいているところでございます。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	中学2年生 男子	<p>⑧ 鹿児島市が政令指定都市になるメリット、デメリットはどのようなものがありますか。 鹿児島市はどのような方針で考えていますか。</p>	<p>政令指定都市になるには要件があります。現在、人口70万人以上ですが、鹿児島市は60万5千人ですので合併しなければ70万人に達しません。 しかしながら、鹿児島市は今、中核市という形態になっています。政令市になれば、県から権限が移され、事業を実施するときに県を通さず、直接、国から認可を受けて事業ができるようになり、県と同じような権限を持てます。その代わりに、責任が重くなることとなります。事業を実施するときに、県からの手助けがなくなるので、それだけ自助努力が必要となります。 権限が増え、自立ができる都市になることは良いのですが、責任が重くなり、事業展開をするうえで財政的にも大きな負担が生じるのではないかと思います。政権交代がありましたので、その中で、今後、国の考え方が地方に対してどうなるのか、見定める必要があります。 私は中核市にも政令市並みの権限を与えるべきだと考えています。地方の自立、自己責任、自己決定に任せて欲しいと思います。そして財源を移して欲しいと考えています。現行の制度の中では、今の体制で権限を移してもらう方が良く考え、全国市長会や国にも働きかけているところです。</p>	政策企画課	※市長の回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	中学1年生 女子	<p>⑨ 今は、三味線や着物の着付けなど、自分でできる人が少なくなっていると思います。おはら祭りの歌い手なども高齢化しています。</p> <p>そういったものに興味が持てるように、学校で定期的にそういった講座を設けられませんか。</p>	<p>伝統、歴史、文化を継承していくことは大切なことです。地域に根ざした伝統文化を是非継承していきたいということで、教育委員会でいろいろと事業を進めているところです。</p> <p>着物の着付け、三味線など若い人たちに是非、学んでいただき、次の世代に継承していくことが大切です。</p> <p>学校のカリキュラムの中で講座が可能かどうかは、教育委員会に相談してみますが、そういったことができれば、鹿児島の魅力がより高まっていくと思います。</p>	学校教育課 文化課	<p>中学校までのカリキュラムの中に、三味線や着物の着付けを具体的に学ぶといった学習内容は位置づけられていないので、どの学校も一斉に講座を取り組むことは、難しい状況にあります。しかし、音楽の時間に三味線の鑑賞をしたり、総合的な学習の時間に自らの学習テーマとしてこのような伝統文化を調べていくといった学習は考えられます。また、長期休業中に課題学習の中で文化芸術に関するものを研究し、それを学校のみならず文化祭等で紹介する方法も考えられます。</p> <p>一方、高等学校では、専門学科で「着付け、茶道、華道」といった生活文化を学ぶ科目を設定している学校や音楽科のある学校で三味線を学ぶところもあります。大学では、さらにそれらを深く研究できるところもあります。</p> <p>また、講座ではありませんが、鹿児島市では、地元の芸術家を小・中学校に派遣し琴や三味線を演奏してもらう鑑賞会なども開催しており、児童生徒が伝統芸術や文化に触れる機会を創出することに努めております。児童生徒がこのような機会を一つの契機として、日本の伝統芸術や文化に興味関心を持ち、それらを継承していくとすることは重要なことと認識しており、教育委員会としましてもできるだけ支援してまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	高校1年生男子	⑩ 合併で成功したと思うことと、失敗したと思うことを教えてください。	<p>まず、良かったと思うことは、合併によって、桜島大根、小みかん、お茶、レインなど特産物など旧市に無かったものが加わり、鹿児島の魅力となる資源が広がりました。</p> <p>また、市の面積が2倍になり、農地も水産業も広がったことから、産業面での魅力が広がったと思います。</p> <p>次に、マイナスということではありませんが、地域によっては、道路、歩道、下水道など都市基盤整備が遅れているところがあります。そういった部分は重点的な整備が必要です。そういった面では、少し格差があるかもしれません。</p> <p>また、旧市内もそうですが、高齢化率が上がってきています。交通体系の整備や町内会の活性化など大きな課題も加わってきています。</p> <p>均衡ある発展に向けて、地域の課題をお聞きして対策を立てていきたいと考えています。</p>	政策推進課	※市長の回答のとおり

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	高校1年生 女子	<p>⑪ 今年、青少年の翼でマレーシアに行きました。実際に体験することは大切です。</p> <p>青少年の翼では一部のしか参加できません。国際交流の場を増やすべきだと思います。</p>	<p>青少年の翼事業、アジア青少年芸術祭など、外に開かれた鹿児島市、外国から見て魅力あるまちづくりに向けて取り組んでいます。その一環として青少年の翼事業をしておりますが、中高校生、社会人の代表として行っていただいているところです。</p> <p>予算が限られていますので、多くの人を派遣するのは難しいところです。できるだけ多くの人たちが行けるようにするためには個人の負担もありますので、今後の課題だと考えています。</p> <p>代表の方には、国際交流の大切さ、現地で感じたことを皆さんにお伝えしていただき、国際感覚を皆さんで共有してもらおうことが大切ではないかと思えます。</p> <p>また、国際市民の会という団体がありますので、それらの取り組みの中で外国の方と触れ合っ欲しいと思います。本市にきている外国の人と交流するのも国際交流の1つの方法だと思います。国際交流市民の会の事業にも参加して欲しいと思います。</p>	国際交流課	<p>生徒からの要望を受け、国際交流行事への教育委員会との連携強化を図ります。</p> <p>◎青少年の翼事業 参加者募集等への教委、各校の周知徹底を図ります。</p> <p>◎かごしまアジア青少年芸術祭 ①学校交流 教委の主体的協力により、より多くの学校、生徒が交流できるものとします。 ②ワーキンググループボランティアへの参加 国際交流行事への積極的なボランティア参加を教委から呼びかけます。 ③青少年音楽祭、青少年ステージ等の参加促進、教育委員会、学校等との協力関係を強め、より多くの方々が青少年音楽祭や青少年ステージ等の催しに来場いただくよう、PRに努めます。</p> <p>◎国際交流市民の会への入会案内並びに事業充実 教委経由により各学校（生徒）への入会案内を行います。また、同会は来年度に発足20周年を迎えるため、さらに多くの方々に参加いただけるよう、事業の充実を図ります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	中学2年生男子	⑫ 市長は中学生の頃は何を考えていましたか。	<p>皆さん方と同じく、中高一貫教育の学校で学生生活を送りました。</p> <p>今振り返ると、6年間、仲間たちと同じ学び舎で、勉強に運動に一生懸命取り組み、大切な時間をもらったと思います。</p> <p>当時、何をしたいという大きな考えはありませんでしたが、仲間と、勉強にスポーツに同じ目的に向かって取り組み、自分自身を鍛えていた気がします。切磋琢磨していたと思います。無我夢中でした。</p> <p>先日、1年後輩の人たちの40周年の会合に顔を出しました。全国各地から集まっておりましたが、会場に入ると、中学、高校時代に戻った気がしました。楽しい学生生活だったのだと思います。</p> <p>皆さんも仲間を大切に、学生生活を満喫してほしいと思います。</p>	秘書課	※市長の回答のとおり